【学科レベルの学習成果】令和5年度「栄養士コース」の学習成果	対象：R4年度入学生（2022S）	24名	2024/3/11

＜成績評価（SABC）の分布＞

評価のランク	人数	割合
S評価	2	8.3%
A評価	9	37.5%
B評価	11	45.8%
C評価	2	8.3%
F評価	0	0.0%
合計	24	100.0%

＜資格等の取得状況＞

項目	人数	割合
A.卒業率	24	100.0%
B.学位取得率	24	100.0%
C.学外実習参加率	23	95.8%
D.進学・編入学率	0	0.0%
E.就職希望率	24	100.0%
F.実質就職率（対希望者）	23	95.8%
G.専門就職率（対就職者）	20	87.0%
①栄養士取得率	23	95.8%
②社会福祉主事任用資格取得率	24	100.0%

＜栄養士実力認定試験の結果＞

ランク	人数	割合	備考
A	10	43.5%	85点満点
B	9	39.1%	本学：49.1
C	4	17.4%	短大：49.8
合計	23	100.0%	全国：53.4

＜職種別の就職状況＞

職種	人数	割合
栄養士	20	83.3%
調理	0	0.0%
一般職	3	12.5%
未就職	1	4.2%
合計	24	100.0%

＜学習成果6項目の到達度＞　（5段階評価）

教育目標	学習成果6項目	
1.「尽心」： 他者の人格を十分尊重して心情に共感し、誠意と品格を持って尽力することで、「誠実な人柄と人間力」を身に付けている。	①誠実性・真摯性： 栄養士の職場において、誠意を持って真剣に人と接し、職業人として信頼されることができる。	
	教員評価	4.4
	学生評価	3.6
	②多様性・協働性： 栄養士の職場において、多様な価値観を持つ人と協力して活動することができる。	
	教員評価	4.4
	学生評価	3.8
2.「創造」： 汎用的能力と専門的能力を修得し、向学心と向上心を持って主体的に学び続け、「高度な知性と創造力」を身に付けている。	③知識・技能： 栄養士の職場において、求められる知識や技能を修得し、様々な場面で創意工夫し応用することができる。	
	教員評価	3.7
	学生評価	3.6
	④思考力・判断力・表現力・創造力： 栄養士の職場において、自分で考え、判断し、表現して、新しいものや良いものを創り出すことができる。	
	教員評価	3.7
	学生評価	3.6
3.「実践」： 時代や環境の変化に対応し、社会的な責任を担って地域社会に貢献するために、「明確な意志と実践力」を身に付けている。	⑤主体性・自立性・実行力： 栄養士の職場において、自分の意志や判断で、自立して行動し、問題を解決することができる。	
	教員評価	4.2
	学生評価	3.5
	⑥就業力・貢献力： 栄養士の職場において、職業人としての実践力を向上させ、地域社会に健康増進や栄養改善などにおいて積極的に貢献することができる。	
	教員評価	4.0
	学生評価	3.6

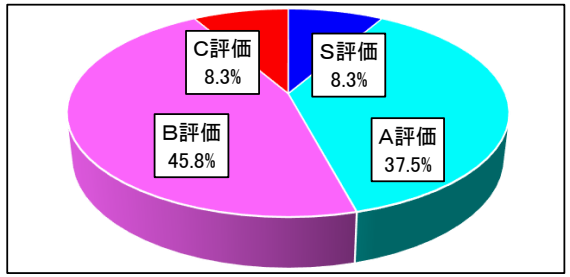
＜ボランティア活動の実施状況＞

	人数	割合
参加者	9	37.5%
不参加者	15	62.5%
合計	24	100.0%

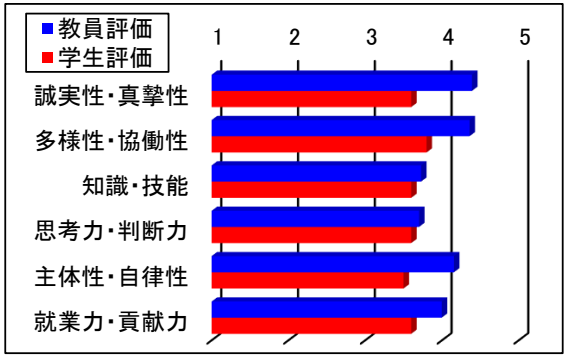
＜基礎能力（職業適性）の到達度＞　（5段階評価）

	1年入学時	2年前期末	増減
言葉	2.1	2.5	0.3
表現	2.4	2.7	0.2
計算	2.1	2.4	0.3
知覚	2.3	3.0	0.7
空間	2.0	2.4	0.4
推論	2.1	2.7	0.6

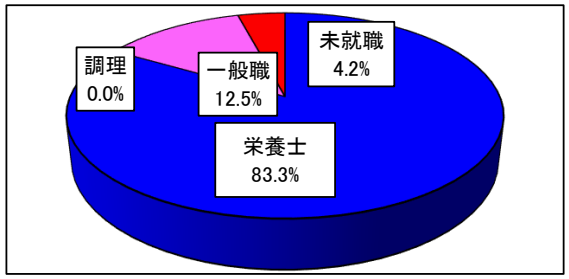
＜成績評価（SABC）の分布＞



＜学習成果6項目の到達度＞



＜職種別の就職状況＞



【学科レベルの学習成果】令和5年度「ビジネス・医療秘書コース」の学習成果　対象：R4年度入学生（2022L）	17名	2024/3/11

＜成績評価（SABC）の分布＞

評価のランク	人数	割合
S評価	2	11.8%
A評価	13	76.5%
B評価	2	11.8%
C評価	0	0.0%
F評価	0	0.0%
合計	17	100.0%

＜資格等の取得状況＞

項目	人数	割合
A.卒業率	17	100.0%
B.学位取得率	17	100.0%
C.学外実習参加率	1	5.9%
D.進学・編入学率	0	0.0%
E.就職希望率	17	100.0%
F.実質就職率（対希望者）	16	94.1%
G.専門就職率（対就職者）	12	75.0%
①秘書士取得率	17	100.0%
②医療管理秘書士取得率	6	35.3%
③診療実務士取得率	6	35.3%
④社会福祉主事任用資格取得率	10	58.8%
⑤日商PC検定3級取得率（文書）	16	94.1%
⑥日商PC検定2級取得率（文書）	1	5.9%
⑦日商PC検定2級取得率（データ）	1	5.9%
⑧秘書検定2級取得率	16	94.1%
⑨秘書検定準1級取得率	2	11.8%
⑩日本赤十字社救急法・救急員		0.0%
⑪長崎県登録販売者試験	0	0.0%

＜職種別の就職状況＞

職種	人数	割合
一般事務	11	64.7%
医療事務	1	5.9%
販売	1	5.9%
営業	0	0.0%
サービス等	3	17.6%
未就職	1	5.9%
合計	17	100.0%

＜学習成果6項目の到達度＞　（5段階評価）

教育目標	学習成果6項目	
1.「尽心」：他者の人格を十分尊重して心情に共感し、誠意と品格を持って尽力することで、「誠実な人柄と人間力」を身に付けている。	①誠実性・真摯性：ビジネスや医療秘書の職場において、誠意を持って真剣に人と接することができ、多くの人から信頼を得ることができる。	
	教員評価	4.0
	学生評価	4.1
	②多様性・協働性：ビジネスや医療秘書の職場において、多様な価値観を持つ人と協力して活動でき、信頼関係を築くことができる。	
	教員評価	3.9
	学生評価	3.8
2.「創造」：汎用的能力と専門的能力を修得し、向学心と向上心を持って主体的に学び続け、「高度な知性と創造力」を身に付けている。	③知識・技能：ビジネスや医療秘書の職場において、求められる知識や技能を修得し、様々な場面で応用することができる。	
	教員評価	3.7
	学生評価	4.2
	④思考力・判断力・表現力・創造力 ビジネスや医療秘書の職場において、状況を判断して自分の考えを表現し、新たな価値を創造することができる。	
	教員評価	3.7
	学生評価	4.0
3.「実践」：時代や環境の変化に対応し、社会的な責任を担って地域社会に貢献するために、「明確な意志と実践力」を身に付けている。	⑤主体性・自立性・実行力：ビジネスや医療秘書の職場において、問題意識を持って主体的に行動し、解決策を提案することができる。	
	教員評価	3.8
	学生評価	3.8
	⑥就業力・貢献力：ビジネスや医療秘書の職場において、常に職業人としての実践力を向上させる努力を惜しまず、積極的に地域社会に貢献することができる。	
	教員評価	3.8
	学生評価	4.0

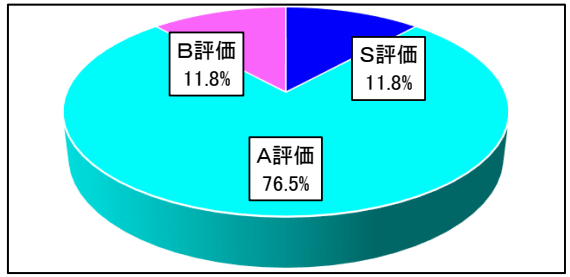
＜ボランティア活動の実施状況＞

	人数	割合
参加者	3	17.6%
不参加者	14	82.4%
合計	17	100.0%

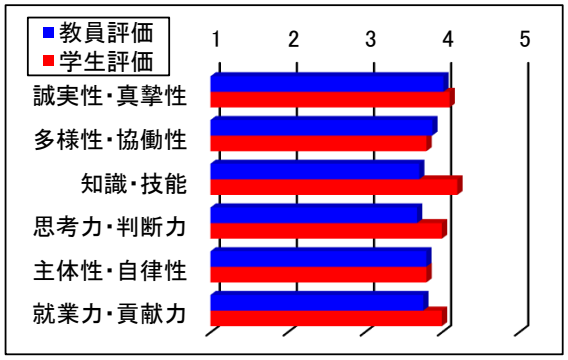
＜基礎能力（職業適性）の到達度＞　（5段階評価）

	1年入学時	2年前期末	増減
言葉	2.7	3.2	0.5
表現	2.6	2.9	0.4
計算	3.0	3.1	0.1
知覚	2.8	3.3	0.5
空間	2.8	3.5	0.7
推論	2.6	3.2	0.6

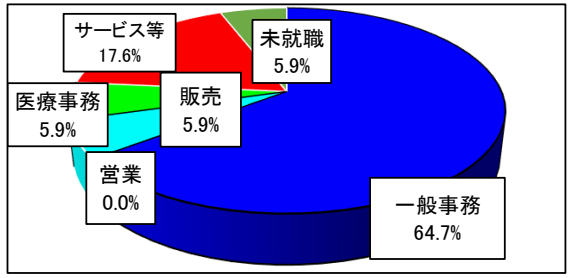
＜成績評価（SABC）の分布＞



＜学習成果6項目の到達度＞



＜職種別の就職状況＞



【学科レベルの学習成果】令和5年度「幼児教育学科」の学習成果	対象：R4年度入学生（2022Y）	85名	2024/3/11

＜成績評価（SABC）の分布＞

評価のランク	人数	割合
S評価	2	2.3%
A評価	36	41.9%
B評価	45	52.3%
C評価	3	3.5%
F評価	0	0.0%
合計	86	100.0%

＜資格等の取得状況＞

項目	人数	割合
A.卒業率	85	100.0%
B.学位取得率	85	100.0%
C.学外実習参加率	85	100.0%
D.進学・編入学率	1	1.2%
E.就職希望率	82	96.5%
F.実質就職率（対希望者）	81	98.8%
G.専門就職率（対就職者）	79	97.5%
①幼稚園教諭二種免許取得率	84	98.8%
②保育士資格取得率	82	96.5%
③社会福祉主事任用資格取得率	85	100.0%

＜職種別の就職状況＞

職種	人数	割合
保育所（園）	36	43.9%
認定こども園	33	40.2%
幼稚園	1	1.2%
施設	9	11.0%
一般職	2	2.4%
未就職	1	1.2%
合計	82	100.0%

＜学習成果6項目の到達度＞　（5段階評価）

教育目標	学習成果6項目	
1.「尽心」：他者の人格を十分尊重して心情に共感し、誠意と品格を持って尽力することで、「誠実な人柄と人間力」を身に付けている。	①誠実性・真摯性：保育者として、子どもに誠意を持って関わり、一人ひとりの思いを受け止め、向き合うことができる。	
	教員評価	3.8
	学生評価	3.6
	②多様性・協働性：保育者として、多様な価値観を受容し、様々な社会資源を活用しながら保育を行うことができる。	
	教員評価	3.5
	学生評価	3.3
2.「創造」：汎用的能力と専門的能力を修得し、向学心と向上心を持って主体的に学び続け、「高度な知性と創造力」を身に付けている。	③知識・技能：保育者として求められる知識や技能を修得し、子ども一人ひとりの可能性を引き出す保育を展開することができる。	
	教員評価	3.6
	学生評価	3.3
	④思考力・判断力・表現力・創造力：保育者として十分な子ども理解に基づき、自ら考え、状況判断を行い、保育への思いを表現し、創造的に子どもと関わることができる。	
	教員評価	3.6
	学生評価	3.4
3.「実践」：時代や環境の変化に対応し、社会的な責任を担って地域社会に貢献するために、「明確な意志と実践力」を身に付けている。	⑤主体性・自立性・実行力：保育者として、主体的に保育を計画し、自立した保育実践を行うとともに、日々の保育に対する自己評価を積み重ね、専門性の向上に努めることができる。	
	教員評価	3.6
	学生評価	3.3
	⑥就業力・貢献力：保育者として保育職の意義を自覚し、積極的に地域社会と交流し、子育て支援の推進と充実に貢献することができる。	
	教員評価	3.7
	学生評価	3.2

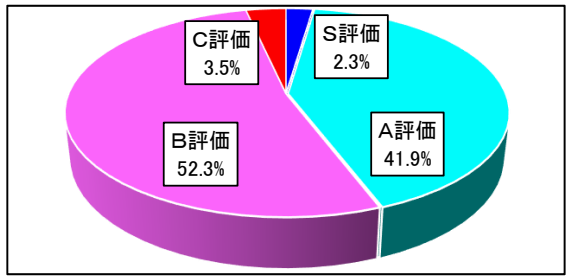
＜ボランティア活動の実施状況＞

	人数	割合
参加者	28	32.9%
不参加者	57	67.1%
合計	85	100.0%

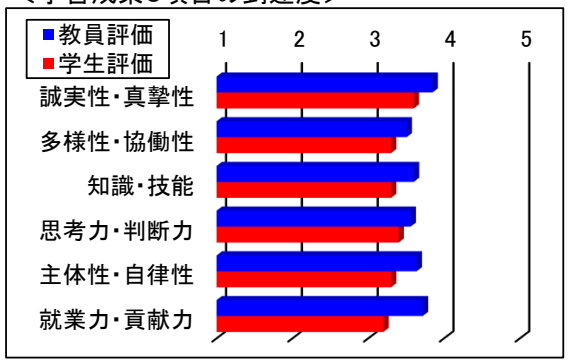
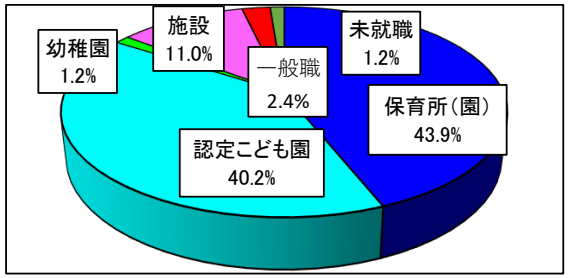
＜基礎能力（職業適性）の到達度＞　（5段階評価）

	1年入学時	2年前期末	増減
言葉	2.2	2.6	0.5
表現	2.2	2.8	0.6
計算	2.3	2.7	0.3
知覚	2.3	2.9	0.6
空間	2.2	2.9	0.7
推論	2.0	2.9	0.8

＜成績評価（SABC）の分布＞



＜学習成果6項目の到達度＞



＜職種別の就職状況＞